

事業名：淡路市中間支援ネットワークの事務局機能 構築事業

特定非営利活動法人島くらし淡路

1.事業が目指すもの

淡路市では人口減少や担い手不足が進む中、移住者の力を地域につなげる仕組みが求められている。島くらし淡路は「まざる・まぜる活動」を通じて中間支援ネットワークの窓口となり、2年目は団体同士が得意分野を持ち寄りながら支え合う体制づくりを進めた。その上で、相談窓口「ふらっと」をさらに広め、気軽な日常の相談から専門的な相談まで幅広く受け止められる環境づくりを強化。地域全体で支え合う仕組みの土台づくりを目指している。

2.活動内容

ふらっと あわじ中間支援ネットワーク のロゴ作成

偶数月の第三金曜日 ふらっとcafe （全6回 / 年）

相談受付や活動の拠点であるHATCHにて偶数月に開催している定期相談会

10/17(金)については津名図書館にて交流会（拡大版）を開催

5月24日(土)「しままぜ交流会(移住者交流会)」(参加者：大人17名・小人4名 計21名)

交流会内にて『淡路市に移住して良かったことランキング』アンケート実施

6月8日(日)「納豆ミュージアムラボ」(参加者：大人7名)

淡路市内に移住後に納豆店（長澤納豆店）で起業した方から、講習会を開催したいと相談があり、企画や広報の支援を行い開催。その後、自身で継続している

9月13日(土)「Canvaワークショップ デザイン体験してみよう！」(参加者：大人8名)

学び合い講座として、canvaを使用したことがある方もない方も混ざって、

それぞれの作成してみたいもの、作成事例などを紹介する座談会方式のワークショップを開催

11月28日(金)「介護のてまえ」(参加者：大人8名)

淡路市社会福祉協議会が毎月開催している「介護のはじめ」という介護者の集いから着想を得て、すぐに介護をする訳ではないが、介護をするとなった時の備えを学びたい、と一般市民からの相談があり、淡路市社会福祉協議会と協働で開催

3.成果と課題

1) 成果：今年度は「ふらっと」を通じて相談の広がりが見られ、個人だけ

でなく団体からの相談も少しずつ増えてきた。雑談の中から自然に話が広がり、暮らしや地域とのつながりへ広がっていると感じることも多くなっている。相談内容に合わせて活動を柔軟に組み立てたことで、関わりが一度で終わらず、学びの継続や新たなコミュニティが生まれはじめ、さらに他団体との協働も増え、ネットワークの動きが少しずつ育ってきている。

2) 課題：「ふらっと」の存在や役割はまだ広くは知られておらず、相談を目的に訪れる人は多くない。気軽に立ち寄れる窓口として、より周知と案内を進めていく必要がある。また、複数の団体で支える体制は整いつつあるものの、誰がどの専門分野を担当するのか、情報の共有方法など、ネットワークとしてのしくみづくりには課題がある。中間支援を担う人材をどのように増やし、継続していくかも、これからの大切な課題となっている。

